

# 新刊書籍のご案内

## 『 鷺 の 笛 』

-中小坂鉄山秘聞-

時代小説  
第4弾



隠された明治政府の暗部に挑み  
官業の謀略を暴く本格時代小説

### 【あらすじ】

万延元年（1860）小栗上野介忠順ら使節団は、米国で製鉄や金属加工の技術を視察、「日本も鉄の国をめざすべき」との考えに至る。帰国後、製鉄所をつくる建議を提案。幕府の猛反対にあうも、製鉄所の建設地を横須賀、鉄鉱石の採掘場を中小坂鉄山に決定。さまざまな困難のなか小栗や、伊佐治ら金穿（かなほり）たちは、目的の実現に邁進する。しかし明治政府は、小栗の功績を封印し斬殺。小栗が建議した横須賀製鉄所を造船所に変更。さらに「鉄は国家也」と莫大な資金を投じるも軌道に乗らない釜石製鉄所へ、さらなる優遇策を講じ続ける。そして日本初の洋式高炉製鉄所は中小坂鉄山ではなく、釜石と認識されていくのである。歴史を大きく変える史実をもとに、鉄に命を懸ける男たちの愚直で生き様を描く疾風怒涛の時代小説。

日本初の洋式高炉は  
「釜石」の常識を覆す  
驚愕の真実が明らかに！

### 【著者紹介】 たなか踏基（たなか・とうき）

山形県山形市生まれ。埼玉県上尾市在住。新潟大学工学部応用化学科卒業。日本化薬（株）に入社、化学技術を専門とする。『雪』で京都大学新聞社第3回懸賞小説入選（選者伊藤整、野間宏）。主な著書に『進化する化学技術』（工業調査会 SCE-net 共同編集）、『奇妙な喫茶店』（文芸社）、『奇妙な猫たち（同）』、『奇妙な受精卵』（幻冬舎ルネッサンス）、『奇妙な羽衣伝説』（同）、『七日市藩和蘭薬記』（同）、『陶匠の血脈』（同）、『元町維新一横濱開化秘聞一』（同）など。◎著者HP <http://www.author-touki.net/sub42.html>

書店印	定価1680円 (本体1600円+税)	幻冬舎ルネッサンス ISBN 978-4-7790-0773-6 <b>鷺の笛 ～中小坂鉄山秘聞～</b> ●定価(本体1,600円+税) 四六判上製 288ページ
	冊	お客様欄(氏名・住所・連絡先)
ご注文は書店様へ		幻冬舎ルネッサンス 書店様用FAX 03-5411-6667